

# 市政に対する

## 一般質問

今定例会では、14人の議員が2月25日、26日、27日に一般質問を行いました。質問の中から、主なものを質問者順に掲載します。

**一般質問**とは、議案と関係なく市の行政事務の状況や将来に対する方針などをたずねるもので、市側は、質問に対し基本的な考え方や問題解決策について答弁します。

### 四本奈緒美議員

- 幸手市内保育所の周辺道路の安全整備について
- 災害時の乳児用液体ミルクの備蓄について
- SDGsに対する幸手市の取り組みについて

### 坂本達夫議員

- デマンド交通
- 本庁舎建て替え方針
- 荒宿交差点、幸手市役所入口交差点
- 洪水対策
- 公共下水道事業の進捗状況
- 幸手駅西口の活性化

### 小林啓子議員

- L G B Tの取り組みについて
- 高齢ドライバーの交通事故対策について
- レジ袋有料化義務について

### 松田雅代議員

- 「幸手市子ども議会」について
- 会計年度任用職員等への移行について
- 公共施設アセットマネジメントについて
- 台風19号の反省に基づく災害対策の進行状況について
- 公共交通網の整備について
- 幸手市西地区のポテンシャルについて

### 小林英雄議員

- 「アスカル幸手」臨時駐車場の設置について
- 権現堂公園桜堤周辺への臨時駅設置について
- 権現堂公園管理事務所について

### 本田謡子議員

- 災害弱者について
- 市助成（補助金）を受けて購入した防災資機材、および取得した防災士について
- 避難所について
- 防災ヘルメットについて
- 生徒の自転車通学用ヘルメットの活用について

### 青木章議員

- バラリンピックについて
- 就職氷河期等に対する支援について市長に伺う
- 令和2年度の予算について

### 大平泰二議員

- 防災対策について
- 財政立て直しについて
- 消防署西分署廃止問題について
- 駅西口土地区画整理について

### 小河原浩和議員

- 市長の選挙公約が令和2年度当初予算にどのように反映されているのか

### 海老沼隆夫議員

- 産業団地への企業誘致について
- 交通安全対策について
- 高齢者が今後も健康でいきいき生活できるように
- 台風19号他、安全対策・避難対策・浸水や冠水対策などについて
- 市内小学校のトイレなどの改修について
- 公共工事入札業者に対する指導について
- 幸手市の農業および農業就業者を守っていくことについて

### 藤沼貢議員

- 令和2年度一般会計予算について市長に伺う
- 新型コロナウイルス等に関連した市の取り組みについて

### 木村治夫議員

- 生活排水対策の推進について
- 高齢者支援の推進について
- 商工業の活性化のための支援について
- 観光の振興について

### 枝久保喜八郎議員

- 市政における継続的な課題について伺う
- 学力向上に向けた教育指針について教育長に伺う
- 幸手市の歴史と伝統に寄与する囲碁文化について伺う
- ハラスメントについて伺う

### 武藤寿男議員

- 行政課題の進捗状況について
- 事務執行上の問題について

## 3月定例会

### 傍聴者

67人の方が傍聴されました。

議会インターネット中継のアクセス件数  
インターネットを利用した議会中継  
(ライブ及び録画)を行っております。

1月 58件 | 2月 2894件 | 3月 1229件

の方が視聴されました。

**議会を傍聴しませんか**  
議会では日常生活にかかわる条例や事業の予算などを審議し、決定していきます。ぜひ、傍聴にお出かけください。

**3月定例会 会期日程**

2月21日(本会議)  
・開会・会期の決定・報告事項  
・市長提出議案一括上程、提案理由説明  
2月25日・26日・27日(本会議)  
・市政に対する一般質問  
3月4日(本会議)  
・議案に対する質疑  
・議案の委員会付託  
3月5日・6日(委員会)  
・文教厚生常任委員会  
3月9日・10日(委員会)  
・総務常任委員会  
3月11日(委員会)  
・建設経済常任委員会  
3月19日(本会議)  
・委員長報告・質疑、討論、採決・閉会

- それぞれの内容の詳細は会議録および市議会ホームページ(インターネット映像配信システム)でご覧になれます。
- 会議録は図書館、各公民館の図書コーナー、市役所の情報公開コーナー、または市議会ホームページで公開しています。
- 3月定例会の会議録は6月上旬頃公開予定です。



坂本達夫議員

## 危ない市役所本庁舎

**Q**

令和2年2月初旬、幸手市役所本庁舎玄関の天井からコンクリート破片が落下した。幸いケガ人はいなかった。しかし、本庁舎の屋上付近を見ると、コンクリートが落ちそうな所が随所に見られる。この庁舎をいつまで使うのか、真剣に検討すべきではないか。また、大きな地震がくれば耐震上問題

**A**

市役所本庁舎については、平成23年度の耐震診断の結果、構造耐震指標が、倒壊等の危険性が低いとされている値を下回っていたため、市は、平成30年度、建て替える方針

を決定した。  
市役所本庁舎は、市民や職員が存在し、市の中枢の機能を担う、災害時の拠点施設であるので、市は、人命を重視し、できる限り早い時期に、建て替え事業を実施してまいりたい。  
(総務部長)



四本奈緒美議員

## SDGsの理念で、幸手市の施策の実現を！

**Q**

SDGs（エスディーズ）とは持続可能な開発目標の事。  
2015年9月に国連サミットで採択され、世界が抱える問題解決の為、2030年を目指して「貧困をなくそう」「気候変動に具体的な対策を」などの17の目標の実現に取り組む。「誰一人取り残さない」こと

**A**

SDGsに定められている目標やターゲットについては、雇用の創出や産業振興、環境保全、市民の健康と福祉の増進など、その多くが「持続可能なまちづくり」を目指した当市の総合振興計画や総合戦略に掲げる施策と趣旨を同じくするものである。SDGsとの関連性については特に明記して

はないものの、これらの計画等を推進してきたことが、SDGsに対する取り組みに資するものと考えられる。今後もSDGsの理念に基づき、計画を確実に推進していく。  
(総合政策部長)



## 高齢ドライバーの交通事故対策は



小林啓子議員

**Q** 国においては、19年度補正予算に安全運転機能を搭載した「交通安全サポート車」の購入補助に1139億円を確保した。

幸手市として、国の補助に上乗せした購入補助をしようかを伺う。

運転免許証を自主返納した高齢者が安全講習会の実施を前提

にした電動アシスト自転車の貸し出し事業を、幸手市として行ったらどうかを伺う。

**A** 市では、高齢運転者の交通事故を未然に防ぐ対策として、運転免許証を自主返納した方を対象にタクシー利用券の交付を実施している。

国の補助に上乗せした購入補助について現時点で実施の予定はないが、今後の交通事故発生状況などを見ながら実施の必要

性を検討する。

電動アシスト自転車の貸し出し事業について現時点で実施の予定はないが、運転免許証を自主返納しやすい環境整備の観点から実施の必要性を検討する。

(市民生活部長)



## 会計年度任用職員募集改善の余地は



松田雅代議員

**Q** 地方公務員法等の一部改正に伴い、これまで特別職非常勤職員であったものの任用要件が厳格化され、一部の役職を会計年度任用職員または有償ボランティア等に移行する制度改革が新年度より施行される。

他の臨時職員から移行した職員も含め、新年度は約300人

を雇用することになるが、各職種の勤務条件や賃金などの公開がなされないまま募集・採用が終わった。どのような方法で採用を行ったのか。改善の余地を伺う。

**A** 会計年度任用職員の募集については、令和元年11月号及び12月号の「広報さつて」に掲載するとともに、12月16日から市のホームページに募集案内を掲載することで市民に

幅広く広報し、募集・採用事務を行っている。

今後は、近隣市町村や市職員との均衡を図りながら、より良い制度となるよう、調査・研究し、さらなる充実を図ってまいりたい。

(総務部長)



## 桜堤周辺への臨時駅設置の進捗状況は…



小林英雄議員

**Q**

桜まつり期間中の渋滞緩和・解消は、地域住民にとつての問題であるだけではない。未来に向け桜の名所として、賑わいを存続させていく為に、来場者の利便性を向上し、リピーターを増やす為にも、臨時駅設置は重要な課題であると考え質問を重ねてきた。

市長公約「四季駅」でもあり

**A**

権現堂桜堤周辺交通渋滞の解消は、重要かつ喫緊の課題であると認識しており、臨時駅の設置は、その課題を解決するひとつの方策である。しかしながら、駅の設置となると、様々な制約や課題点もあることから、これらも踏まえて慎重に検討するとの答弁であった。その後の進捗状況について東武鉄道と協議等の進展があったか伺う。

重に検討していきたいと考えている。

なお、その後の状況については、2月18日に、総合政策部および建設経済部の職員が東武鉄道の本社を訪問し、臨時駅舎に係る調査・研究を今後、進めていくための協力をお願いしたところである。（総合政策部長）

## 防災資機材や防災士はいかされているのか



本田謡子議員

**Q**

幸手市は自主防災組織に対し、防災資機材や防災士取得の助成（補助金）をしている。そこで、その防災資機材の点検や管理を伺う。また、助成で取得した13人の防災士の台風19号における市に対する動きと、その防災士を市として「育てる」施策はあるのかを伺う。

**A**

自主防災組織が配備した防災資機材等は、日頃からの自主防災活動の中で使用されるものであり、点検や管理はそれぞれの組織で行うものと考えていることから、いざという時に確実に使用できるよう、周知を図っていく。また、台風19号の際には、自主防災組織の防災士に対し、活動の依頼等を行っていないが、その専門的知識を災害時に活用し、中心となって活躍していただくため、今

後、防災士が連携や情報交換をするための場を検討したいと考えている。（市民生活部長）



## パラリンピック聖火リレーの対応について



青木 章 議員

**Q**

東京2020パラリンピックは、8/25(火)～9/6(月)までの12日間開催されます。また、パラリンピックでは、8/18(火)～8/21(金)の間、採火式や聖火デジタルに加えて聖火リレーも開催されます。埼玉県内の聖火リレーは、8/20(木)に行なわれ幸手市↓蓮田市、白岡市↓川島町、入間市↓朝霞市のルートと発表されました。そこで、幸手市に

**A**

おける聖火リレーの概要と各種団体の協力、小・中学生の参加等その対応を伺います。

パラリンピックの聖火リレーは、令和2年8月20日(木)に実施されます。県内17市町村で「採火式」、さいたま市で「集火式」が行われ、「埼玉の聖火」として車輛にて幸手市まで移動され、聖火リレーが始まります。聖火リレー当日については、関連イベントや広範囲な交通規制、また、沿道警備を行う必要がある

ことから、市内の団体へ協力をお願いしたいと考えております。また、小・中学生や幸手桜高校の生徒のみなさんに協力を依頼することも検討しています。(教育部長)

※議会終了後、延期が決定しましたが、市としては、これまでの計画どおり聖火リレーが行われるよう取り組んでいきます。(教育部長)

## 消防署西分署廃止問題について



大平泰二 議員

**Q**

東部消防組合議会で管理者は「協議はするがまだ何も決まっていない」と答弁(昨年10月)しているが、その後の管理者会議の協議内容について。また、報告書は「消防防災科学センター」に依頼し作成した机上の合理化案で本署は管轄を大きく(半径2.5km)、分署は小さく(半径2km)している。

**A**

データ数字の根拠も不明です。市は報告書の内容をどのように分析したのか伺います。

正副管理者会議は、昨年12月23日と本年2月10日に行われ、その際、西分署廃止については、市議会議員、地域住民も反対していること、地勢や道路状況からも、引き続き存続するよう意見を申し上げ、以降の具体的な動きはない。また、報告書は、第三者機関が国

の整備指針に基づき調査・分析したもので、結果は適正に評価されていると認識しているが、地域の実情などは反映されていないことから、地勢や道路状況等を考慮すべきものと考えている。(市民生活部長)

## 選挙公約が新年度予算にどの様に反映されたか



小河原浩和議員

**Q**

市長は「市政一新」を掲げ、随所に「刷新」「見直し」「抜本的な改革」とあるが、その言葉の通り、令和2年度の当初予算に反映されている主な具体策を事例別にその予算金額を交えて伺う。

**A**

教育・子育て支援事業の刷新として、プログラミング教育ソフトの導入、アフタースクールを経費および3世代ファミリー定住促進補助金を計上した。

また、医療・介護・福祉の見直しとして、第2次幸手市地域福祉計画の策定、ロタウイルスワクチン接種費用助成金およびパラリンピック聖火リレーの経費を計上した。

公共施設の再編では、行政組

織の活性化や行政機関の集約として、引き続き公共施設個別計画を策定する経費を計上した。

(市長)



## 台風時の浸水・冠水対策を！



海老沼隆夫議員

**Q**

毎回大雨の度に浸水・冠水する所では、側溝取水口が詰まったまま、排水溝中が土砂で埋まり、排水能力の失われた場所が長年放置されたままになっています。このような場所のチェック・発見と、改善対策を伺う。

**A**

道路側溝の取水口のつまりや土砂の堆積等は、台風時などに職員のパトロールによる現地確認や、市民からの情報提供もいただきながら、つまりの改善や土砂の堆積の撤去などの維持工事を適切に行いながら、排水路修繕などを検討し、被害の軽減に努めてまいりたいと考えております。

(建設経済部長)



## 新型コロナウイルス等の市の取組みについて



藤沼 貢議員

**Q**

新型コロナウイルスによる感染は全国的に広がりを見せている。

感染者は2月25日現在、国内で159名、死者1名と厚生労働省は発表しているが、情報不足により、市民は不安の中にいる。国は25日に新型コロナウイルス感染症対策の基本方針を発表しているが、市は予防対策を

**A**

はじめ、医療を含め市民喚起すべきと思うが市の取り組みを伺う。

新型コロナウイルス感染症への適切な対応を行うため、市長を本部長とする対策本部を設置し、全庁的な情報共有と連携体制の強化を図り、

市主催のイベントや公共施設の休館等について、国・県の動きと連動した対応を決定している。これら市の対応や感染予防策、

相談窓口については、市ホームページや広報、回覧、関係団体への周知等、様々な手段を用い、市民に情報が行き渡るよう取り組んでいる。今後も、適宜対策会議を開催し、対応していく。

(健康福祉部長)

## 高齢者支援の推進について問う



木村治夫議員

**Q**

高齢者の市民が住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らし続けることができる街幸手の観点から伺う。

(1)介護保険サービスの充実について地域密着型サービスの具体的方策について、また令和2年度介護会計予算において、高齢者の居場所づくりの推進、ま

**A**

た活動ボランティアに対する市としての支援について市長に伺う。

幸手市第7期介護保険事業計画に基づき、新たな地域密着型サービスの公募および整備を進めており、これまでに小規模多機能型事業所などが開設した。令和2年度はこれらを含め、サービスの周知や相談の強化を進める。

高齢者の居場所づくりとそれ

に関わるボランティア支援のため、令和2年度介護保険特別会計予算にボランティア養成費用や活動保険代を計上したが、今後住民主体の自主的な活動支援のため、様々な手法を考えていく。(市長・健康福祉部長)



## 小中一貫校の実現について伺います



枝久保喜八郎議員

**Q** 市内小学校3校で今年度の入学予定児童が7名となっており、複式学級での対応も限界がある。小中一貫校は学力のみならず子どもの健全な成長に多くの利点がある。学級担任から教科担任で教師児童共にコミュニティとモチベーションが高まり、学びの質が変わる。複数教師の拘わりでいじめの芽

が発見しやすく、かつ教師による固定概念固定評価が無くなり子どもが明るくなる。スポーツ活動が幅広く可能となる等々。東中学校を中心とした学校制度を早期に考慮すべきでは。

**A** 現在、学区の見直しも含めた小中学校の適正規模や形態などについて、研究、検討をしている。また、昨年7月には、一貫校の先進事例である春日部市立江戸川小中学校に

ついて学ぶため、開設を担当した職員を招いて、説明を受け、質疑応答や情報交換を行ったところである。教育委員会としても、今後の市立小中学校の設置のあり方や適正な規模については、喫緊の課題であると認識している。設置者である市長部局とも連携し、検討を進めていきたい。  
(教育長)

## 公共施設の個別管理計画の進捗は



武藤寿男議員

**Q** 本市の公共施設は、建設後年数も経過し老朽化しつつある。少子高齢化が顕著となり、生産年齢人口の減少等によって、財政状況の見直しにも厳しいものがある。

このような中で、公共施設の維持管理をどのようにするか、個別の管理計画の進捗状況を伺

う。

また、そのためには事業用施設、インフラ施設の、固定資産台帳の整備が必須であるが、それぞれ所管課の施設管理台帳の整理把握が必要と思われるが、それらの取り組みについても伺う。

**A** 個別管理計画については、市内の公共施設の現状および今後の基本的方針等を扱った「市民説明会」や「市民

ワークショップ」を実施するとともに、「幸手市公共施設等総合管理計画」策定の際に収集・整理した「公共施設データ」および「公共施設カルテ」に施設劣化状況の調査結果を加えて更新し、計画案の作成を進めているところである。

また、個別管理計画の基となる固定資産台帳においては、各種管理台帳を含め整理精査をしている。

(総合政策部長・総務部長)